

共同購入運動の成功と中江必勝からこれ

日刊
動労千葉

87. 3. 30

No.2513

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二五三五六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

「4月1日以降の新たな闘いへむけて」 動労千葉第16回定期委員会

三月二十五日、動労千葉第十六回定期委員会は、四月一日以降①二十八名の解雇者の奪還、②清算事業団の十二名と、不当配転された仲間の奪還、③東日本会社での資本・鉄道労連との組織攻防戦、④組織・財政基盤の確立を重点課題とする取り組みを確認し、解雇者を先頭に総反撃にたつ歴史的な委員会として圧倒的成功をかちとった。

総反撃に起とうー
布施書記長が提起



家族会・林会長

傍聴参加の家族会より林会長が挨拶にたち「財政基盤の確立へ家族会も頑張る。そのために」ともつと家族会を発展させたい。未結成支部での結成を早急にかちとろう」と檄をとばした。
続いて、布施書記長が経過報告と当面の取り組みについて提起した。「原則的に闘い抜いた動労千葉が、千葉局の運転職場の最大組合として敵に存在する現実、東京南局の『国労運転士はゼロ』の現実を見た時、今日までの動労千葉の闘いの正義性は明白だ。その勝利の上に、中曽根・杉浦・松崎の真の狙いであった一企業一組合を破産に追込んだ」との一二月闘争の総括がなされ「だからこそ、四

月一日以降、資本と鉄道労連が一体となった一企業一組合攻撃が動労千葉への強制配転・出向を軸とした組織破壊攻撃として必ずかけられてくる。分割・民営化に率先協力し、その手先となることが雇用を守るんだと言ってきた鉄道労連の労使共同宣言のなれのはてが鉄鋼、造船における首切りであるばかりか、労働組合が労働者を戦争への道にかりたてる産報化へ行きつくものだ。資本・鉄道労連が結託した一企業一組合一産報化を許さないために、動労千葉一動労総連強化・拡大、運転保安確立、労働条件の維持・向上、権利の確立へ向け、あらゆる戦術をもって闘い抜く」との方針を提起したあと、最重要課題として「動労千葉の最先頭を担い抜いた二十八名の解雇者、十二名の清算事業団の仲間を必ず職場へ奪い返す闘いに決起する。これらの闘いの基礎は、組織・財政基盤の確立にあることを見すえ、解雇者を先頭に物資販売運動強化とともに新たに開始する共同購入運動の成功に向けて全組合員、家族が一丸となって取り組まなければならない」と鮮明に打ち出した。

全組合員・家族の力で 難関をのりきろう

昼食をはさんで、当面する具体的取り組みとして、吉岡執行委員より中江必勝に向けた取り組み、片岡執行委員から共同購入運動の取り組みについて提起された。労働協約・協定、暫定予算案がそれぞれ提起されたあと質疑に入り、十二名の委員からの発言をうけて、本部より答弁がなされ「この二年間で奪い取られた労働条件を奪い返さなければならぬが、鉄道労連ではダメなことは明白だ。これからも大変な重圧を受けながら闘うことになるが、全組合員でこの難関を乗り越えよう」との集約答弁が行われ、全ての議題が満場一致で確認され、闘争宣言採択、組合歌、そして中野委員長の一共同購入運動と中江選挙闘争の必勝に向けて団結ガンパローをもって終了した。



定期第16回千葉動労
解雇者を先頭に全組合員・家族がうって
一丸となって新たな闘いへ決起しよう...
布施書記長